

第5回 鶴川・ピリカ・プロジェクト「防災」についての意見記入用紙（1）

お名前 _____

「情報伝達」の課題と取り組み（意見交換の前半）

出水時の行動	細目	課題	理由	取り組み（レ：済み、 : 短期、 : 中長期）	役割分担（案）	
 	正確な情報を共有する	情報の収集 (河川、被害状況の巡回など)	・監視カメラ設置(国、道の連携) ・道路と河川の情報共有	道の管理区間に設置されていない 河川の増水による道路の崩壊があった。	国、道、町 国、道、町	
	情報連絡体制 (連絡先の把握、体制の整備など)	・地域から情報が入ってこない ・自治体に防災専門官が必要 ・個人情報保護法により高齢者の把握が難しい	地域の情報がない。何に手を付けるのか。 情報を住民に正確に渡す 会員の中に誤解。無理解。反対の声あり	・日頃の情報交換 ()	国、道、町、住民 国、道、町 町、住民、町内会	
	情報伝達方法 (無線、サイレンなど)	・情報の伝達方法に問題 ・サイレンが聞こえない?	雨の音、二重窓	・防災行政無線の導入 ()	町 町	
	地域が必要とする情報 (独自の勧告基準など)	・専門用語でわかりにくい	必要な情報なのに理解できない。	・わかりやすい言葉に変更 () ・気象庁、北海道及び開発局が連携洪水の警戒警報の発令 ()	国、道、町 国、道、町	
	受け手の問題 (外れる予測の軽視など)	・災害予測の精度を許し、重要性を認める体制が必要	予測に絶対はないが、その重要性は高い		国、道、町	
その他意見						

第5回 鶴川・ピリカ・プロジェクト「防災」についての意見記入用紙(2)

お名前 _____

「避難判断」「避難行動」の課題と取り組み(意見交換の前半・後半)



出水時の行動	細目	課題	理由	取り組み(し:済み、:短期、:中長期)	役割分担(案)
	適切に避難判断す	避難勧告 (地域独自の避難基準など)	・河川の場合、避難する際の情報の把握の仕方が難しい	地震ならドアを開け、火を止めるなどの簡単な対応がない	・情報を集約して行動に結びつける訓練 () 町 ・土砂降り中の避難はつらい。早めの避難勧告 () 町
	受け手の問題 (正常性バイアス、地域への理解など)	・住民はなかなか避難してくれない ・正常性バイアス ・夜中など、避難しない方が得策と考えるのでは。 ・危機意識を持続する方法が必要。 ・意識改革が必要。	自分の家がやはり大事 経験から自分勝手に判断する 予測ができずつらい 人間は忘れてしまう。 言葉だけでなく、具体的に行動する必要。	防災啓発を図る () 町、住民 ・情報を集約して行動に結びつける訓練 () 町、住民 ・防災意識の啓蒙 () 町、住民、学校 ・子供への防災教育 () 町、住民、学校	
	事前の準備 (避難訓練、避難マニュアル、マップなど)	・(HM)配布されているが理解していない	本番になると見ていないし、誘導しないと動けない	・(HM)繰り返し啓蒙する必要がある。 () 国、道、町、住民 ・(HM)町内会の活動を通して意識させる。 () 国、道、町、住民 ・(HM)サイズや閲覧場所の工夫 () 国、道、町、住民 ・(HM)勉強会や具体的な目標を想定した避難訓練 () 国、道、町、住民 ・(HM)勉強会や広報活動を行う () 国、道、町、住民	
	(HM:ハザードマップを示す)	・(HM)土砂災害なども含んだ、地域独自の(避難ルート記載など)マップ	実際に使用できるかどうか	・避難時の水深には意識と現実にギャップ	体験しておらず、理解できない。
	避難所の問題	状況により避難先が適切でない ・生田小学校は避難所として疑問がある ・避難所の鍵の管理に問題がある。	避難路が通行できなくなるため 車が通れない。水道が使えない。 役場までとりにもどる必要がある。	避難路を改善する。 () 町 ・避難所の見直し () 町 ・食料の備蓄 () 国、道、町	
	地域の行動 (避難誘導など)	・地域に防災の中心となる人が必要 ・地域コミュニケーションの衰退		・自主防災組織、避難訓練 若手リーダーの育成 () 町、住民 ・自治会、町内会で支援体制の確立が重要 () 町、住民	
	弱者支援 (洪水時の支援、リストづくりなど)	・個人情報保護法により高齢者の把握が難しい	会員の中に誤解。無理解。反対の声あり	・自主防災組織のモデル事業の導入 () 町、住民、町内会	
	その他意見				

茶:第2回意見、緑:第3回意見、黒:第4回意見、黄:行政の取り組み、青:藤間教授のアドバイス

第5回 鶴川・ピリカ・プロジェクト「防災」についての意見記入用紙（3）

お名前 _____

「水防活動」「河川整備」の課題と取り組み（意見交換の後半）

出水時の行動	細目	課題	理由	取り組み（レ：済み、 : 短期、 : 中長期）	役割分担（案）
適切に水防活動する 	事前の準備 (水防活動訓練、マニュアルなど)				
	資機材の確認 (どのう、ポンプなど)				
	水防活動 (経験者の有無、体制づくりなど)				
	河川巡視、被害状況の確認 (体制作りなど)				
河川を整備する 	本川の河川整備をする	占冠村堤防の嵩上げ	双珠別ダムの放流と絡み水位が上がる。		国、道、町、村
	支川の河川整備をする				国、道、町、村
	内水対策をする				国、道、町、村
その他意見					

茶：第2回意見、緑：第3回意見、黒：第4回意見、黄：行政の取り組み、青：藤間教授のアドバイス

